

Q 人の集まる都市公園の にぎわいのある活用

うちの
内野 嘉広 議員



A 都市公園をより有効に活用 できるよう取り組んでいく

問 本市における都市公園の使用についての基本的スタンスは。

答 なるべく多くの方に自由に公園を利用してほしいと考えている。しかし、不特定多数が利用するために一定の基準を設けており、鶴ヶ島市都市公園条例により、行為の制限、許可の特例、行為の禁止、利用の禁止または制限をしている。ほかにも、

気持ちよく利用できるように利用マナーの呼びかけを行っている。

問 都市公園における市民主体のイベント開催時の都市公園条例上の取扱いについて。

答 物品の販売や募金などを行う場合、集会などで一部または全部を独占して使用する場合は、都市公園条例で市長の許可を得なければならぬと規定している。



都市公園の賑わいのある活用を！

Q 鶴ヶ島市が目指す 未来のすがた

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 掲げている市の将来像を目指す

市が後援、共催、事務局をしているイベントは、公共性の高きから使用を許可している。**問** にぎわいのある都市公園の活用について。

答 公園を活用したにぎわいの創出は、地域の活性化につながるものと考えている。今後も、より有効な公園の活用や利用者の利便性を高めていけるよう、意見や要望を聞きながら取り組んでいく。



市役所庁舎

前回の質問で根拠に基づく政策立案の考えに立って、市長が最重要施策として掲げる施策について質問したが、私と執行部の考え方に大きな食い違いを感じた。また、施策として実施すべき根拠が感じられず、第6次鶴ヶ島市総合計画で目指している市の将来像、「しあわせ共感安心のまち つるがしま」に向いているのか疑問であるため、再度質問する。

問 (仮称)「つるの駅」構想の成果目標は。

答 食をテーマとした企業誘致により、つるの駅とその周辺エリアへの来訪者の獲得及び市民の雇用を創出することである。

問 ガーデンパークによるまちづくりの成果目標は。

答 地域住民の社会参加の促進や誰もが集える場所づくりである。また、新たな地域の交流機会の創出として、ガーデンパークを活用した交流イベントの開催による、市外の人も呼び込んだ鶴ヶ島駅周辺地域の活性化の推進である。

問 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり整備計画の成果目標は。

答 居心地のよい歩行者中心の充実した暮らしの確保と地域住民をはじめとした人々の憩い・交流・にぎわいの創出である。